

剪定枝で貼り絵できた

北秋田町 北鷹高生講師に教室



剪定した果樹の枝などを使った貼り絵教室が、北秋田市東横町の認定こども園しゃろーむ（小塚光子園長）で開

秋田北鷹高生のサポートを受けながら貼り絵に挑戦する園児
果樹班はリンゴやナシ、ブドウなどの栽培を学んでおり、剪定作業で切り取った枝が大量に出る。これまでは鉛筆や箸置きなどの商品を作る材料として活用してきたが、地域貢献活動にも生かそうと初めて教室を実施した。
生徒は電気熱を利用して接着剤を溶かすグルーガンの使い方などを説明。園児は生徒のサポートを受けながら剪定した枝や松ぼっくり、スギの葉などをコルクボードに貼り付け、星や森、ウサギなど思い思いの形を作った。
枝や葉を使って魚の形に仕

上げた佐藤朱ちゃん（3年）は「作るのは大変だったけど、高校生のお兄さんに優しく教えてもらって楽しくできた」と笑顔を見せた。

剪定した枝を活用した地域貢献は今後も続けていく予定。本間咲帆さん（3年）は「たくさんの子に喜んでもらえてよかった。余ってしまう素材を有効活用でき、地域に目を向ける良い機会になった」と語った。教室は14日に開催された。

（原田大生）